

熊本災害ボランティアセンター運営支援派遣 報告

「福祉の和 広げてつながる」

地域の環

仲西中学校3年5組

西原 慎太郎

「たすけあい みんなで咲かせる 笑顔の花」

第39回福祉標語優秀作品

神森中学校2年7組

正木 永遠



“ボランティアはリレーだ!!”

～地域コミュニティの大切さを知る!～

～友を愛し、人とひとをつなぐ～
フレイ愛ネットワーク

大津町
災害ボランティアセンター

熊本県を中心とする地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

平成28年5月13日～19日の7日間、浦添市社会福祉協議会CSW仲地が第7クール派遣員として「九州ブロック社協災害時相互応援協定」及び「県内社会福祉協議災害時相互応援協定」に基づき熊本地震に伴う被災地災害ボランティアセンター運営支援活動へ参加しました。災害ボランティアセンターとは市町村社協が主体となり災害時に設置される被災地での防災ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。派遣先は熊本県北部に位置した人口約3万人の菊池郡(きくちぐん)大津町(おおづまち)でした。

現地の職員の方より、「地域でのコミュニティが密に取れている地域こそ、災害が起きた時、自治会等が中心となり地域住民が互いに助け合いながら安否確認が行われている」というお話をお聞きすることができました。今後は私たちが暮らす浦添市の地域性を活かし各地域での防災訓練や社協災害ボランティアセンター運営訓練等を実施し、地域住民の皆さんが積極的に防災訓練等に参加できるよう各自治会、民生員の方や関係機関と協議・連携を行い進めていかなければいけない課題だと強く思います。

災害ボランティアセンター内に掲示されていたポスターにこんな言葉がありました。「ボランティアはリレーだ。1日にしたら短い時間、少ないかもしれないけど、それが何万人・何十万人とリレーのようにつながってその地域を復興させていくのだ…」この言葉のように今もなお復興のためボランティア活動が進められている中、遠い浦添市の私達からも被災地へ何かできることがきっとあるのではないのでしょうか?

浦添市社会福祉協議会
仲西中学校地域保健福祉センター
CSW 仲地 亮太

地域の自治会紹介コーナー

みんなは自分の住んでいる自治会がどんなとこわかるかな?
今回は西原一区自治会・西原二区自治会を調査してきたよ!

西原一区自治会

自治会加入率24.64%(平成28年3月末日現在)

【住所】西原4丁目11番8号【電話】876-0484

～新・自治会長久松真さんへインタビュー～

6月より西原一区自治会長となりました久松真です。ゆとり世代の34歳です!自分の大好きな地域を次世代にバトンタッチできればと思い、立候補しました。若い世代にも西原の良さを伝えていきたいです!



～ここが自慢!!西原青年会～

「エイサー保存会」だった組織が、2年前、青年会として復活してから、積極的に自治会行事なども手伝ってくれています。他の地域の伝統的な型(北谷謝苅4区:現在では宇地原区)を継承した西原ですが、今では普及も兼ねた活動も行っています。また、地域の子どもの居場所や活躍の場でもあります。青年会がイキイキとしていることで、自治会と地域にも活気が湧いています。



西原二区自治会

自治会加入率25.08%(平成28年3月末日現在)

【住所】西原4丁目11番8号【電話】876-0484

～新・自治会長新垣有三さんへインタビュー～

4月より西原二区自治会長となりました新垣有三です。これまで陸上競技大会10連覇に関わらせていただいた経験などから、地域に恩返ししたいという想いが高まりました。一步一步すすめていきたいです。



～ここが自慢!!西原の大綱引き～

西原綱引きの由来は、定かではありませんが、区の諸先輩方の言い伝えでは、約300年前にさかのぼると言われています。五穀豊穡、自然の恵みに感謝し、豊作を神々に祈願したことが西原においては現在の大綱引きに受け継がれているものと思われま。

